

インクルーシブ教育システムについての自己評価と課題設定

- * 説明を聞く前に自己評価し、説明を聞いたあとで(後日)取り組むべきことを書きます。
皆様の教員評価を目的としておりません。あくまでも研修目的です。

評価内容	自己評価	取り組むべきこと
1 児童生徒の実態把握は、障害に限定せず多様性を意識し、教育的支援の観点でとらえている	両方はい ひとつはい 両方いいえ	
2 不適応を示す児童生徒に対し、本人の訴えをよく聴くようにしている	はい いいえ	
3 インクルーシブ教育システムのポイントを知っている/実施のための学年・校内組織がある	両方はい ひとつはい 両方いいえ	
4 どの児童生徒も主体的に参加できる授業づくりを心がけている	はい いいえ	
5 学校や学級のきまりやルールが守れる取り組みをしている/注意や叱責より褒めることを心がけている	両方はい ひとつはい 両方いいえ	

いじめのない学級経営を重視している	両方はい
6 る/良好な人間関係を育てる指導を計画的に実施している	ひとつはい 両方いいえ

学力や行動面に特別な指導が必要な児童生徒に対して、学校や学年として組織的に取り組んでいる	はい いいえ
--	-----------

合理的配慮を保障し、校内に対応組織がある	両方はい ひとつはい 両方いいえ
----------------------	------------------------

関係機関と連携するとともに、個別の教育支援計画を作成している	両方はい ひとつはい 両方いいえ
--------------------------------	------------------------

学校の特別支援教育推進体制を知り、自分自身の役割を提案できる	両方はい ひとつはい 両方いいえ
--------------------------------	------------------------

- ・はい(両方はい)の数
 - ・全体を通して取り組むべきこと
-